

気候変動のスポーツ施設に与える影響について

1. 台風被害 (令和元年度 台風19号)

令和元年10月に襲来した台風19号により一ノ宮公園庭球場・球技場は大きな被害を受け、施設が利用出来ない状況となった。約1100万円の工事費をかけて応急的な復旧工事を実施し、復旧まで約8カ月を要した。気候変動により日本各地で豪雨被害が増加しており、河川敷に設置されたスポーツ施設として、今後も同様の被害を受けるリスクがある。

被災前の庭球場



被災後

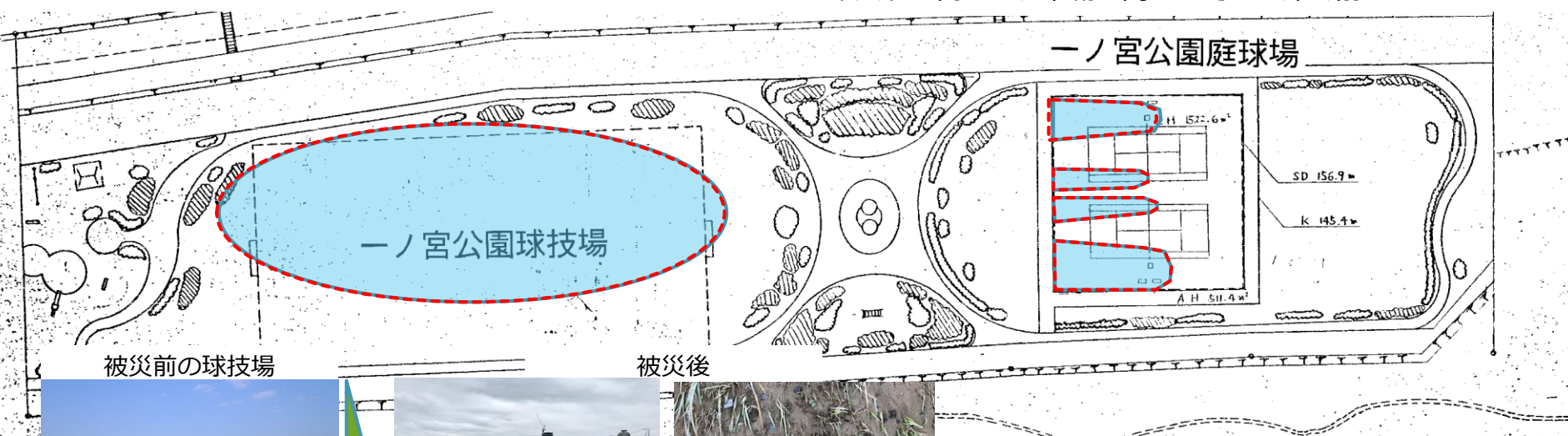


断面



土砂流出箇所

ポストが倒され、下流に向かって土が深く削られた



被災前の球技場



被災後



2/3程度の面積の土が流された。

2. 高温時における体育施設について

近年は猛暑が続き、記録的な最高気温が続いている。東京都内でも2018年に観測史上初めて40℃を超える気温が記録された。そのため、熱中症患者も多く発生しており、死亡に至る深刻なケースもある。特に屋外体育施については、施設予約をしたが、熱中症の危険があることから、施設利用出来ない、という状況がある。

《熱中症による救急搬送状況(救急発送人員及び死者数)》

出典：令和元年11月6日消防庁報道発表資料より一部引用

年	2019年		2018年		2017年		2016年		2015年	
	搬送	死亡	搬送	死亡	搬送	死亡	搬送	死亡	搬送	死亡
人員数	71,317	126	95,137	160	52,984	48	50,412	59	55,852	105

運動時の熱中症予防

公益財団法人日本スポーツ協会発行「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」では、熱中症予防のため、どの程度の環境温度でどのように運動したらよいかが次のとおり示されている。



暑さ指数(WBGTは、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

【ポイント】

1. 河川敷に設置されたスポーツ施設について、今後、同様な被害を受けた際にも、毎回、復旧を行うか。
2. 屋外体育施設利用者からは、夏の気温の高い日について、熱中症の危険から施設利用出来ず、前払いしている料金について還付を求める意見がある。
3. 武道館については、令和元年度実施の改修工事で空調が設置された。総合体育館には空調が設置されていない。災害時の避難所でもあり、今後の暑熱対策について検討が必要である。